

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	別府溝部学園短期大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ベップミソベガクエンタンキダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	インターンシップ
	学部・研究科等名	ライフデザイン総合学科グラフィックデザインコース
	担当教職員名・役職	大蔵開平
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	12
受入企業等数	12	
受入企業等名	プリズム・株式会社プリメディア・いづみ印刷株式会社・佐伯印刷株式会社・株式会社電子印刷センター・株式会社AFB/デザインマップ・株式会社パルス・株式会社Design totte・株式会社クリエイツ・株式会社コスモレンタル・ホームページ作成F	
インターンシップの分類	7.中小企業でのインターンシップ,8.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ	
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事,2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.以外での就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	仕事の実際を知り、業務従事の心構えや、そこの課題解決等に取り組む体験をすることができる。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している,6.当該インターンシップは、選択科目として実施している,8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	2年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	1単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	2年次の夏期休業期間にインターンシップとして実施している。本科目では、学生の主体性に基づくより高い就業意識と職業観の育成や専門分野への理解を促す。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている,2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている,3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている,4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている,2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	初回の事前学習の中で、実習の趣旨や目的の理解を行う。インターンシップ中の目標設定、企業研究を行っている。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	職業体験と自らの学びがどのようにつながったかを振り返る目的で、報告会を実施している。
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)		
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている,3.インターンシップによる到達度を具体的に示した評価基準(例:ルーブリック)を整備し、学生及び教員で共有している
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	日誌や報告書により、学生の実習前後の変容を客観的に把握し、学生の自己理解を促す。これまでの学修の深化や今後の大学教育への動機づけに資するような指導を行っている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している,3.複数の企業等においてインターンシップを実施することにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実習期間5日間

	5-2. 以外の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3. 上記回答内容に関する詳細(記述欄)	受け入れ先に、5日間の実習を行っている。
要素⑥	6-1. 大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1. はい
	6-2. 該当する大学等と企業の協働取組の内容	1. 企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している。2. 大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している。3. 企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている。4. 受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2. 以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3. 上記回答内容に関する詳細(記述欄)	事前に実習の意義や目的を受け入れ先にご理解いただいた上で、ニーズに応えられるようにするために、計画の段階から参画いただいている。
	7. 上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	<a href="http://www.mizobe.ac.jp">http://www.mizobe.ac.jp</a> 別途提出済み
問い合わせ先	大学等名	別府溝部学園短期大学
	担当部署名	ライフデザイン総合学科
	担当者役職名	教授
	担当者氏名	オオクラカイヘイ
	電話番号	0977-66-0224
	メールアドレス	kookura@bm.mizobe.ac.jp